

NEW YEAR CONCERT 2023

ピアノトリオのメンバーによる新春の調べ



玉井 菜採

たまい なつみ

ヴァイオリン



河野 文昭

こうの ふみあき

チェロ



野田 清隆

のだ きよたか

ピアノ

©Leonardo Bravo

京都生まれ。桐朋学園大学在学中に、ブラハの春国際コンクールヴァイオリン部門に優勝。東儀祐二、小国英樹、久保田良作、立田あづさ、和波孝禧の各氏に師事。

卒業後、アムステルダム・スヴェーリンク音楽院のH.クレバス氏、ミュンヘン音楽大学のA.チュマチェンコ氏のもとで研鑽を積む。この間、J.S.バッハ国際コンクール最高位をはじめ、エリザベート王妃国際コンクール、シベリウス国際コンクールなど数々のコンクールに優勝、入賞している。文化庁芸術祭新人賞、京都府文化賞奨励賞など数多くの賞を受賞。

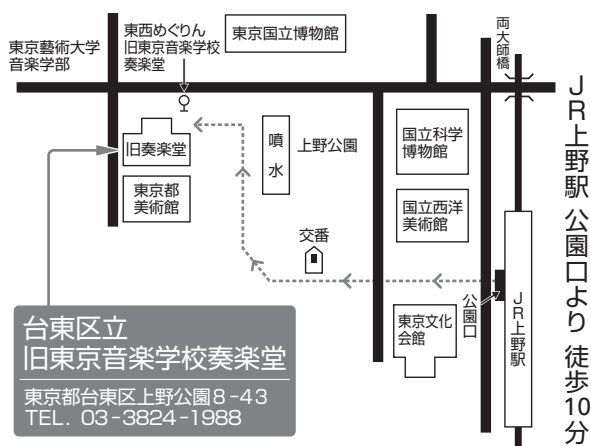
これまでに、ロシアナショナル管弦楽団、ベルギー放響、ヘルシンキフィル、スロヴァキアフィル、N響、大阪フィル、京響など、国内外のオーケストラと共演、ヨーロッパ各地、国内でリサイタルを行い、室内楽奏者としての信頼も厚い。紀尾井シンフォニエッタ東京コンサートマスター、東京クライスアンサンブルメンバー、アンサンブルofトウキョウソロヴァイオリニスト。子供のための室内楽アカデミー“びわこミュージックハーベスト”コーディネーター。東京藝術大学音楽学部教授。

京都市立芸術大学卒業。1982年に文化庁在外派遣研究員としてロスアンゼルスで、その後ウィーン国立音楽大学にて研鑽を重ねる。黒沼俊夫、G・ライター、A・ナヴァラの各氏に師事。1984年帰国後、独奏者として各地でリサイタル、オーケストラとの共演を重ねる他、アンサンブルofトウキョウ、紀尾井ホール室内管弦楽団、静岡音楽館(AOI)レジデントカルテット、岡山潔弦楽四重奏団などのメンバーとして、室内楽の分野でも、国内外に幅広く精力的な演奏活動を行ってきた。

81年第50回日本音楽コンクールチェロ部門第一位、90年京都音楽賞、92年大阪府文化祭賞、2004年京都府文化賞功労賞等を受賞。17年京都市文化功労者。

現在、東京藝術大学教授。演奏芸術センター長。

第64回日本音楽コンクール第1位および各賞受賞。ブラームスと20世紀作品を組み合わせた一連のリサイタルにより東京藝術大学で博士号。内外の指揮者のもと読売日本交響楽団、日本フィル、東京交響楽団、シティフィル、藝大フィル、札幌交響楽団、名古屋フィル、京都市交響楽団、大阪交響楽団、広島交響楽団、九州交響楽団でソリストを務める。現代音楽の領域では、尾高忠恕《ピアノ協奏曲》初演やブレーズ《シュル・アンシーズ》日本初演などに携わる。ゆふいん音楽祭、アフィニス音楽祭出演のほか、2017年にはアッセンブリッジ名古屋音楽祭で愛知室内オーケストラを弾き振りした。CD録音には花崎薫との「ベートーヴェンのチェロとピアノのための作品全集」(コジマ録音)や、高橋敦との「Ode for Trumpet」(オクタヴィア・レコード)、尾高忠恕「音の海から〜12のピアノ小品」(フォンテック)ほか多数。藝大ピアノ科・室内楽科講師を経て、現在は東京学芸大学准教授、東京音楽大学指揮科特別アドヴァイザーを務める。かたわら、2022年より指揮研修生として田代俊文氏に師事している。



台東区立 旧東京音楽学校奏楽堂

- JR「上野駅」公園口 徒歩約10分
- 東京メトロ銀座線・日比谷線「上野駅」 徒歩約15分
- 京成線「京成上野駅」 徒歩約15分
- 台東区循環バス「めぐりん」
「旧東京音楽学校奏楽堂」 徒歩約1分

※駐車場はありません。電車等をご利用下さい。



たいとう文化発信

お客様への
お願い

- ・ 当日37.5度以上の発熱や咳、のどの痛みなど風邪のような症状のある方はご入館をお断りいたします。
- ・ 敷地内ではマスクの着用をお願いします。コンサート中もマスクを着用したままで鑑賞ください。
- ・ 館内では、お客様同士の距離を適切に保ち、会話を控えていただき、密接・密集を避けてください。
- ・ チケット購入時にいただいた個人情報、当館で感染者が発生した場合、必要に応じて保健所へ提出します。
- ・ その他、諸注意について、当館のホームページでご確認ください。